

「活動場面報告」

～県庁、県立図書館、対面式～

3月21日午後、私たちは、県庁・県立図書館と順に訪問し、最後に市役所で対面式を行いました。

1ヶ所目の県庁ではソルノクの知事さんが来てくださり、ソルノク市が今どきになっているのかそして、どのくらいから遊佐町との関係があるのか改めて教えてくださいました。県庁の中にはホールがあり、そこで、コンサートが行われたり遊佐町混声合唱団のみなさんが歌ったりしたということを知り、本当に遊佐町と関係が深いんだと実感することができ良かったです。でも、少し心残りがあります。それはわからないことを少しでもいいので質問できなかったことです。

2ヶ所目では、今回はじめて訪問する県立図書館に行きました。そこには、幼児向けハンガリーの本がたくさん並んだ幼児専用のスペースと大人向けのような本のあるスペースがあり、日本にはないような図書館だと思いました。さらに、私たちが行った時には日本のアニメが好きな人がたくさん集まったアニメクラブ的な人たちが毎年やっている日本のアニメの仮装コンテストの動画や画像を見せてくれて、日本のアニメがこんな離れた国の人たちにも人気があり、日本人としてとてもうれしかったです！

仮装コンテストの紹介のあとには、謎解き脱出ゲームというのをやりました。何人かのグループになり謎解きを全部クリアすると密室から脱出できるというゲームをやってハンガリー語が分からなくても楽しむことができたので良かったです！

図書館で楽しんだ流れで市役所に戻り対面式を行ったのですが、はじめて海外の人との関わりがはじまる対面式ということもあり、とても緊張してしまい、気持ちを落ち着かせるために時間がかかってしまった時に、ホストファミリーの方々が私のことを見つけてくれ、声をかけてくれてとてもうれしかったし、緊張してしまう場面だったけど、楽しい気持ち、そして笑顔で対面式を迎えられたのでホームステイのはじまりとして最高の時間になりました。

「最高の3日間」

私の派遣先での1番の思い出は、ホームステイです。

私のホストファミリーのみなさんは娘さんのアポルカさんが英語とハンガリー語がとても上手に話せて、かっこいいと思いました。お母さんとお父さんもたくさん私に話しかけてくれたので異国の地ではありましたが、安心することができました。

1日目は、対面式があり、とても緊張している中、ちょうど後ろの席に座っていたホストファミリーの方々が声をかけてくれたので、緊張がほぐれたので良かったです。

対面式終了後、すぐにホストファミリーの家へ行くのですが、お父さんがスーツケースを、お母さんとアポルカは手荷物を持ってくれ、内心「えっ！」と驚いたのですが、とても嬉しかったです。

家へ着いてからは、お母さんが作ってくれたご飯を食べ、その後、日本から持ってきたお土産を渡すことができました。たくさん持って行ったので、「こんなに！」と言って喜んでくれました。

日本からのお土産を紹介する時は大変で、特に、日本でよく使われているホッカイロの使い方を英語で説明するのが難しかったです。

2日目は、夜に車で遠くまで行き、そこから少し散歩をしました。散歩をしている時は、夜だったのであまり賑わっていなかったのですが、日本の夜に比べて明かりが多くて、「さすが、海外だな」と思いました。

3日目は、自由時間で朝はアポルカが通っているケーレン芸術小学校の入学式に行き、そこで、アポルカが踊る民族舞踊を見せてもらえて、アポルカの踊りはとてもカッコ良かったです。

午後からは、スパに連れて行ってもらい、とても広く、日本には無いような温泉とウォーターライダーがあり、楽しみました。

さよならパーティーでは、私たちが日本でたくさん練習して来たジブリの歌や花笠音頭をみんなで披露しました。

私がこの3日間で1番嬉しかったことは、ホストファミリーのみなさんが日本語が書かれた紙を見ながら、ご飯の時は「いただきます」など、日本語を頑張って使ってくれたことです。

私も今度会うときは、今回より少しでもいいからハンガリー語を上達させ、話せるようになって絶対またハンガリーに行きホストファミリーに会いたいです。

最後に、5年ぶりのハンガリーへの派遣事業が実現できるように研修を企画してくださった多くの方々のおかげで、このハンガリー派遣事業を無事成功することができました。本当にありがとうございました。

そして、ハンガリーへの派遣事業の保護者説明会・ハンガリーに行くためのお金を出して協力してくれた保護者のみなさん本当にありがとうございました。